



合唱コンクールで団結 素晴らしい歌声が響きました

7月6日(水)、大崎中学校体育館において「第9回大崎中学校合唱コンクール」が開催され、クラスごとに課題曲と自由曲の2曲を合唱しました。

生徒は、音楽の時間や昼休み、放課後を利用し約2か月間練習をしてきました。新型コロナウイルス感染症予防のため、人との間隔を開けるなど工夫して練習をおこない、当日はオンラインでのライブ配信も実施しました。

1曲伴奏をした3年の前原篤靖あつよしさんは「最初の頃はみんなと速さが合わなかったり間違えたりして悩んだこともありましたが、今日みんなで1つになれて良かったです」と振り返りました。



今年も良い仕上がり ハウスみかんの収穫祭

7月1日(金)、永吉にある中水流健二けんじさんのハウスみかんの園地において「令和4年度産ハウスみかん収穫祭」がJAそお鹿児島の主催で開催されました。

今年は、5月に日照不足が続きましたが、収穫時期には例年並みの仕上がりとなり、本町と志布志市の農家5戸で出荷量31.8トンを見込んでいるとのこと。

中水流さんは「5月の日照不足で心配していましたが、水や温度管理、栽培技術で糖度も例年並になり、良かったです。地元の方にハウスみかんでぜひ食べていただきたいです」と話されました。



就農希望者を後押し 農業研修がスタート

7月1日(金)、中央公民館において「大崎町担い手育成農業研修事業開講式」がおこなわれました。

全国で担い手不足が懸念される中、将来を見据えた農業生産体制を確立させるため、町では、町内で独立就農をめざす方を対象に農業技術などを習得する研修事業を今年度から実施し、町外出身の山中清一郎せいいちろうさんと妻の真紀まきさんが第1期生として研修をスタートしました。

山中さんは「楽しくしっかりと学び、大崎町産のピーマンを広めていけるよう頑張ります!」と意気込みを話されました。